

平成 30 年度第 2 回あいち医療ツーリズム推進協議会 議事概要

日 時：平成 31 年 2 月 18 日（月）午後 2 時から午後 2 時 45 分まで

場 所：愛知県庁本庁舎 6 階 正庁

出席者：（委員）10 名（代理含む）

（事務局）保健医療局長、保健医療局次長、医務課長 他

1 挨拶（愛知県保健医療局 松本局長）

2 議題

(1) 平成 30 年度の医療ツーリズム推進に係る取組状況について

（愛知県医務課 兼子課長補佐等）

- 資料 1 により、以下について説明
 - ①あいち医療ツーリズム推進協議会
 - ②トップセミナー
 - ③国際医療コーディネーター育成研修
 - ④海外 P R
 - ⑤医療機関向けアンケート
 - ⑥国家戦略特区

（中部メディカルトラベル協会 木村事務長）

- 北京への出展後、医療ツーリズムに携わっている中国の業者等から約 30 件の問合せがあった。今回の展覧会において、愛知県でも外国人患者を受け入れていると知ったため、東京で対応しきれない患者を愛知県に送り込みたいようである。

大手の業者とは、3 月から 4 月頃を目途に具体的な話を進めており、患者を送ってもらう予定になっている。またの機会に結果も報告したい。

(会長 愛知県医師会 柵木会長)

- ただ今の説明について御意見はあるか。

(愛知県歯科医師会 内堀会長)

- 北京で行ったアンケートでは「歯科治療を海外で受けたい」という回答が二番目に多くなっている一方で、県内医療機関（病院）を対象としたアンケートでは、歯科で外国人患者を受け入れた実績が少ない。

歯科は病院が少なく診療所が多いが、健診・除石・クリーニング・ホワイトニングなど軽医療・予防・審美あたりの需要が高く、病院だと大げさで、もう少し簡単などころでのニーズが高いのかと思う。現地での感触はどうだったか。

(愛知県医務課 兼子課長補佐)

- 歯科治療については、審美が多いと言える。

なお、医療機関向けアンケートは病院のみを対象にしているため、診療所が多い歯科の実績は少なく出てしまう。

(会長 愛知県医師会 柵木会長)

- 一般の歯科にはアンケートを取っていないため、おそらく診療所で行っている審美やインプラントのようなものは実績が出づらいのだと思われるが、全ての診療所にアンケートをするのは非常に大変だとも思う。

(2) 平成 31 年度の医療ツーリズム推進に係る取組予定について

(愛知県医務課 兼子課長補佐)

- 資料 2 により、以下について説明（平成 30 年度 2 月県議会での予算案の可決を条件）

- ①あいち医療ツーリズム推進協議会
- ②県内医療機関への情報提供等支援（新規）
- ③国際医療コーディネーター育成研修
- ④医療機関向けアンケート
- ⑤海外 P R 等

(会長 愛知県医師会 柵木会長)

- ただ今の説明について御意見はあるか。

実効性という観点からは、アンケート結果によれば少しずつ外国人患者の受入れが増えているようであり、前年度とほぼ同様の取組を着実にやっていくことも必要かもしれない。

海外PRは、同時期に同じ北京で行う予定となっているが、他都市はないのか。また、愛知県としてのPRに最も相応しい都市ということで北京になっているのか。

(愛知県医務課 兼子課長補佐)

- 上海や内陸部の成都でも同様の展覧会が開催されているが、やはり北京が一番良いと考えた。

(藤田医科大学 星長学長)

- 中国の人口を考えると、上海、広州や重慶も重要なターゲットとなる。中部国際空港で毎日直行便がある主な都市は、青島、北京、上海、香港くらいであり、東京と比べて少ないことは非常に不利である。特区による医療滞在ビザの短期発給が認められれば、多少カバーできるのではないか。